



つくしんぼだより 11月号

平成 27 年 10 月 23 日

石原第二保育園

病児保育担当:鈴木・青木

寒いからといって、必要以上に厚着をさせていませんか？ 外遊びが大好きな子どもたちは、寒空の下でも元気いっぱい走り回っています。厚着をし過ぎると思うように体を動かすことができないので、寒さは上着で調節し、できるだけ活動しやすい服装で遊ばせましょう。

呼吸器感染症に注意

- RS ウイルス** 寒冷期(11月頃から初旬まで)に流行し、飛沫、接触感染します。90%以上の乳幼児が2歳の誕生日までにRSウイルスに感染を受けているといわれます。その後も再感染を繰り返します。症状は、4~5日の潜伏期間を経て、多くの場合は鼻水程度のかぜ症状ですが、6ヶ月未満の乳児はときに細気管支炎を起こし、重篤になることがあります、注意が必要です。
- マイコプラズマ肺炎** 飛沫により感染し、2~3週間の潜伏期間を経て頭痛や倦怠感、発熱などの全身症状があります。咳は2週間くらいたつと目立ってきます。乾性のせきが2~3週間以上続くときは受診しましょう。マイコプラズマ肺炎と診断された場合は、治癒証明が出れば登園可能です

歯科指導



10月6日に高崎歯科医療センターの歯科衛生士さんによる歯磨き指導がありました。年中・年長組は手作り紙芝居を真剣に聞いていました。大きな歯型の模型と大きな歯ブラシを使って正しい磨きかたを子供たちと一緒にやりました。年中・年長児は、6歳臼歯のお話もありました。

歯科指導の様子

紙芝居のお話を通して3つの約束をしました。

- ①甘い物は少しにしよう
- ②よく噛んで食べよう
- ③歯磨きをしましょう

衛生士さんから、歯磨きカレンダーとお便りをもらい、6日にお配りしました。

歯磨きカレンダーなどを上手に使い、歯磨きをしてむし歯予防をしましょう。



インフルエンザの予防接種

発症を抑え、肺炎や脳炎などの合併症を防ぐ重症化防止効果があります。ワクチンは効果を発揮するまでに約2週間かかり、半年程度効果が期待できます。急性の病気にかかっている場合や、発熱している子は予防接種を避けたほうがよいでしょう。

MR ワクチン 1歳になったらすぐ1回、年長(ばらぐみ)になったら忘れずに2回目を受けましょう。

Q&A Q1ワクチン接種したのにかかるのがいるのはなぜ？

A 残念ですが、ワクチンは100%予防効果があるものではありません。例えば、1回接種の場合、麻しんワクチンは98%、風疹ワクチンは95%、流行性耳下腺炎では、90%、水痘では70~80%の効果です。これらの生ワクチンは2回接種を勧める時代に入ってきています。毎年、流行期前に接種されるインフルエンザワクチンは、インフルエンザにかかっても重症化しないことも目的にしています。かかっても軽くすむということもワクチンの効果の一つです。

今月のつくしんぼ 発熱 3人

今月の感染症 10/20 現在 結膜炎 2人 RSウイルス 1人 咽頭結膜熱 1人 水痘 2人